

大阪湾漁場環境速報

平成20年 1月10日発行
兵庫のり研究所

(水温) 表層は湾内10~13 台で、平均12.2 。 平年(過去10年平均 11.7) 比0.5 高く、昨年(13.2)比1.0 低い。 -10m層は平均12.5 で、平年(12.0)比0.5 高い。

(塩分) 表層平均32.43psu(平年 31.95)。 -10m層平均32.97psu(平年 32.33)。 また、前月同様、紀伊水道から流入する海水の影響を受けている海域では33psu以上の値を示している。

(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均13.2 μg-at/L、リン濃度は平均0.73 μg-at/L。 窒素、リンともほぼ平年(13.4, 0.70)並の値を示している。 -10m層(平均)は、窒素7.5 μg-at/L、リン0.60 μg-at/L。 河川水等の影響を受けている海域(表層)では、栄養塩濃度は高い値を示しているものの、播磨灘から流入する海水の影響を受ける明石海峡周辺部(一部、-10m層)では窒素濃度が4~5 μg-at/Lのやや低い値であった。 播磨灘で大量発生しているタラシオシラ (*Th. diporocyclus*) やギナルディア、リゾソレニアなどの珪藻は明石海峡周辺部で多い状況。 小型珪藻はキートセロスが認められた程度で、例年と異なり今のところ出現種類・発生量とも少ない。 透明度は4.0~13.0mで、平均7.1m。 神戸港周辺から湾奥部にかけて、透明度が非常に高い。 pHは表層平均8.31。

塩分、リン、コシノディスカス、タラシオシラ、透明度の各分布については別紙参照。

上段(今回値)	平成20年 1月 9日調査
中段(昨年値)	平成19年 1月 5日調査
下段(平年値)	

調査地点	水温()	塩分(psu)	三態窒素(μg-at/L)	磷酸(μg-at/L)
04	13.2	33.18	7.2	0.60
	14.2	32.47	8.4	0.68
	12.6	32.66	9.9	0.68
05	11.6	31.98	16.6	0.77
	13.1	31.89	9.1	0.77
	11.6	32.26	10.0	0.70
06	12.0	32.89	4.1	0.48
	13.0	31.87	9.1	0.78
	11.8	32.22	9.6	0.71
07	12.0	32.71	6.2	0.55
	13.0	31.74	10.7	0.75
	11.9	32.20	9.9	0.67
08	13.7	33.31	7.2	0.65
	14.1	32.40	8.6	0.67
	12.7	32.53	9.3	0.66
09	13.8	33.38	6.7	0.59
	14.1	32.40	8.6	0.66
	12.6	32.48	9.4	0.67
010	13.1	33.13	7.4	0.63
	13.1	31.87	10.1	0.77
	11.5	32.04	11.2	0.63
012	11.3	32.28	15.8	0.74
	12.8	31.41	14.1	0.77
	11.0	31.44	17.3	0.64
013				
	10.5	30.94	28.1	0.85
	10.5	30.42	33.8	1.22
016	11.7	29.87	19.3	0.45
	10.4	30.38	26.7	0.75
017				
	10.3	29.71	53.9	1.34
	10.7	27.07	83.6	2.80
018	12.2	30.25	22.9	0.57
	10.1	28.31	64.1	2.04
	10.9	31.51	22.4	0.95
S1	13.2	31.91	10.0	0.75
	11.3	31.70	15.8	0.77
S2	10.8	30.83	29.9	1.11
	11.6	30.09	17.9	0.47
S3	10.7	30.98	22.8	0.78
	12.1	32.74	6.4	0.55
S4	13.2	31.88	9.5	0.76
	11.3	31.99	11.8	0.69
	13.4	33.24	7.3	0.60
004	14.3	32.46	8.4	0.68
	12.3	32.52	10.2	0.69



